

## 朝鮮民主主義人民共和国からの連帯メッセージ

活動家集団 思想運動 御中

### 連帯メッセージ

ロシア十月社会主義革命101周年記念集会の開催に敬意を表します。

また、あらゆる困難な状況の中でも社会主義の理念を高く掲げ、平和と民主主義、反差別と反独占を貫き、力強い活動を展開している皆さんに、厚い連帯のあいさつを送ります。

周知のように、今年に入り、金正恩国務委員長の卓越した統一・外交戦略とイニシアティブによって、北南間では3度にわたる北南首脳会談が行われ、歴史的な4.27板門店宣言と9月の平壤共同宣言が発表されたばかりか、6月には史上初めての朝米首脳会談が実現し、画期的なシンガポール共同声明が発表されました。その結果、朝鮮半島では70年に及ぶ分断と敵対関係の解消、恒久平和と自主統一に向けた確固とした新しい時代的流れが生まれています。

朝鮮半島情勢でこのような劇的変化が起こる中で、唯一日本政府だけが、これに逆行する圧力一辺倒政策に固執していることは、誠に遺憾です。

安倍総理は、臨時国会での所信表明演説で「私自身が金正恩委員長と向き合わなければならない」、「相互不信の殻を破り、拉致、核、ミサイルの問題を解決し、不幸な過去を清算して、北朝鮮との国交正常化を目指す」と述べましたが、わが国との対話を真に望むのであれば、核・ミサイル問題や拉致問題の解決を前提にするのではなく、朝日平壤宣言に則り不幸な過去の清算を優先し、国交正常化に真摯に取り組むことが重要だと思います。

とりわけ、今年の8月に国連の人種差別撤廃委員会が日本政府に対して再度勧告したように、朝鮮学校生徒たちに対する高校無償化制度からの排除など、在日朝鮮人に対する人権侵害と差別的措置を撤廃すべきです。

私たちは、今年、建国70周年を迎えた祖国・朝鮮が、平和と繁栄、統一に向け新しい歴史的歩みを進める中、その一翼をしっかりと担い、日本の各界の皆さんと共に、朝日善隣友好の時代を切り開くべく引き続き力を尽くしてゆく所存です。

今後とも朝日友好親善と在日朝鮮人の権利擁護の為のわれわれの活動に対する、変わらぬご支援、ご協力を願い、本集会のご盛會を心より祈念します。

2018年11月10日

**在日本朝鮮人総聯合会中央本部 国際・統一局**